

# 仙北市の

## 地域づくりの基本は？

細川 俊雄 議員



### 農業

**質問** 仙北市の地域づくりの基本の中に農業が確実に組み込まれるべきだ。

今、農水省は農業を守るために死にも狂いがかんばっているが我々現場の者はそれを知らない。今までの様に国とか県が何とかしてくれる時代では無い。

国の新しい農家安定所得政策は農地、水、環境の保全対策と二つが一つになって進められるものであり今後の農業を守っていく施策である。

美郷町は既に『環境保全対策』を農家と共に作製して三月三日に提出できるまで進んでいる。この事業は十アール当たり四千四百円の還元がある。

仮に仙北市田沢湖約二千二百ヘクタールだと二億四千万

円の事業となる。市の負担は約六千万円だが市長はこれを負担しても実施すべきと思うがどうか。

美郷町ではこの事の説明会に町長、上席主幹・上席主任の三人が出席している。当市から誰が出席したのか。

地産地消を市の地域づくりの基本にどう組み入れるかを承りたい。

**市長** 地域づくりの基本はよ

そから注目される何かがあるまち作りが基本。品目横断所得対策（新農政）の中に質問の主旨が含まれていると考えている。『水・土地環境対策』にも取り組むため県の振興局。当市、大仙市、美郷町、おぼこ農協でチームを作り進めるので当市からも職員を派遣する。アンケートには当市も取り組む。

地産地消も大事と思う。市内のホテルなど大量消費グループとの連携のため『地産地消マップ』でPRする。

### 教育

**質問** 地方主催の立場から仙北市の教育基本を伺いたい。又、この三十年間積み立てた教育財産の位置づけを聞きたい。

神代小学校の危険校舎は何より優先して建て替えすべきではないか。

**市長** カウンセラーが神中を

中心に効果的にやられている話は承知している。神代小学校の安全性については二月末の診断結果を待ちたい。すべて大丈夫との判定で無いことも想定した検討も必要と教育委員会と話し合っている。

### 職員の意識改革

**質問** 職員が働きやすい環境を作るべきでないか。

**市長** 職員は良くがんばっていると思う。



冷たい雪の中、頑張るおばこ達

## 新年度の国保税は？ いわゆる『北浦文化』の振興を

藤原 貫一 議員



### 国保税（十八年度）について

病気の時は健康保険ほ

**質問** 病気の時は健康保険ほどがありがたいものは無いが国保税が高く市民の苦勞が絶えない。

国保税の延滞額が約二億円滞納を理由に保険証返納で短期保険証。資格証明で病院窓口では全額支払いの世帯が約三百五十世帯もあることがそれを証明している。

市民は合併して一年目の新年度の国保税がぐんと上がるのではないかと恐れている。

又、国保基金三億円の内一億円を取崩して予算計上したと聞かぬが仙北市の国保の安定のためには一般会計から繰入して基金を積み増す必要があると思うが市長の見解を承りたい。

### 北浦文化の振興

**市長** 国保税は激変をさせて基金から一億円を取り崩して国保税は規準を十七年度と大差のないように予算化した。

生活困窮世帯については相談機能を強化して参りたい。

**質問** 合併により北浦と言われる地域が一つになった。北浦文化圏とも言われ、すぐれた文化が継承されているが、これをどう守り、発展させるか承りたい。

『おやま囃子』のすばらしい伝承もあるが『ささら』のように後継者不足が見えるものもある。小学校のクラブ活動に取り入れるなど教育委員会の格別の施策を期待したい。角館の武家屋敷の近くに『おやま囃子会館（仮称）』を作り観光客にお祭りの雰囲気や伝え、心に残る観光と踊り手、囃子方などの収入も考えての施策が必要と思うがどうか。